不思議の森から Volume 48
THE YOKOGURAYAMA NATURAL FOREST MUSEUM NEWS, Ochi October 2023

1階の常設展示［牧野富太郎と横倉山］コーナーへ期間限定で設営されている NHK 連続テレビ小説紹介パネル展

NHK 連続テレビ小説紹介パネル展

牧野富太郎博士は、高知県高岡郡佐川町の出身。植物を愛し、記録を残し、後の世に伝えることを、一生をかけて取り組まれました。横倉山へも頻繁に調査に訪れ、ヨコグラノキ、コオロギラン、ヨコグラツクバネなど多くの植物を世に紹介しました。

令和５年度上半期の連続テレビ小説は、牧野富太郎博士をモデルにした物語でした。ドラマの中では、博士を基にしたキャラクターである槙野万太郎の幼少のころから晩年までの生活が描かれました。オープニング映像で横倉山が美しく写され、ドラマの中では杉原神社や安徳水など越知町にお住まいの方なら一目でわかる景色が何度も登場しました。まことに個人的な想像と感想で恐縮ですが、番組を制作されたスタッフの方々が横倉山をとても気に入ってくださったことがあらわれていると、たいへんうれしく思っています。

博物館では今年の４月より、NHK 高知放送局の協力を得て、NHK 連続テレビ小説パネル展を開催しています。会場は１階の常設展示［牧野富太郎と横倉山］コーナーです。展示しているパネルは、主人公の槙野万太郎とその妻である寿恵子の等身大パネル。ご一緒に写真を撮るのにぴったりです。そしてドラマの中の情景が写された写真パネルが４枚、キャストや撮影セットを紹介したパネルが４枚。さらに、万太郎の幼少期から青年期までのハイライトシーンを、登場した多くのキャラクターと共に紹介する自立型のロールスクリーンなど、盛りだくさんです。加えて、槙野万太郎役を演じた神木隆之介さんと妻の寿恵子役を演じた浜辺美波さんが昨年 10 月に来館された折に、当館へ残していってくださった品も展示公開しています。

ドラマは９月末をもって終了しましたが、紹介パネル展はしばらく続きます。多くの方々のご来館をお待ちしています。

（やちもり しゅうじ／横倉山自然の森博物館学芸員）

企画展「ある日、彼はこの山で大きな夢に出会った」

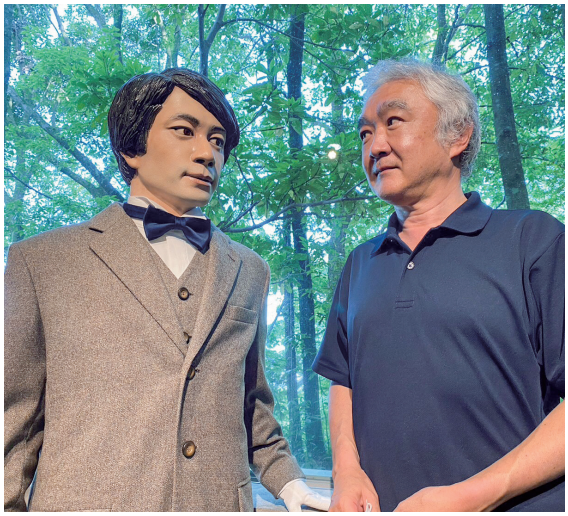
谷地森　秀二・宮地　萌

当館では令和５年３月25日から令和６年３月３日までの長期間、企画展「ある日､彼はこの山で大きな夢に出会った」を開催しています。この企画展は、高知県が展開している観光キャンペーン「牧野博士の新休日」の一環で開催しているイベントです。

展示は、当館が所蔵している牧野富太郎博士ゆかりの植物標本、博士の写真、博士が執筆した書籍、植物模型などで構成し、博士と横倉山との関係について知ることができる内容となっています。企画展を始めてから約半年が経過し、これまでに多くの来館者の皆様にご覧いただいています。開催期間の折り返し時期を迎えましたが、まだまだ多くの皆様にご覧いただきたく思い、この記事では会場の様子や、展示資料を紹介します。

◇牧野富太郎博士とゆかりが深い植物模型（常設展示から企画展示へのいざない）

１階廊下に、実物大植物模型９点を展示しています。模型となっている植物は、横倉山で見られる植物の中からとくに博士とゆかりが深い種が選ばれていて、コオロギラン、ジョウロウホトトギス、ヨコグラツクバネなどです。これらの模型は､普段は常設展示［牧野富太郎と横倉山］で展示していますが､本企画展では特別に１階の廊下でご覧いただけるようにしました。新設した天井からのスポットライトに照らされて、いつもとは違った雰囲気でご覧いただけます。



◇牧野富太郎博士がお出迎え

企画展の本会場である多目的ホールの入口では、牧野富太郎博士がお出迎えしてくれます。実物大フィギュアです。製作はフィギュア制作会社として名高い㈱海洋堂です。

この牧野富太郎博士、お顔が3タイプあります。左のお顔は頻繁に横倉山へ調査に来られていた20代半ばのころの写真が基になっています。ほかに、植物を真剣に観察している60代ころのお顔、そして同じ60代ころの笑顔となっています。来館したときに、どのお顔と出会えるかは運次第です。ぜひ、ご一緒に写真を撮っていってください。

◇牧野富太郎博士が採集作製した横倉山の植物標本

本企画展の目玉である資料です。通常は当館の収蔵庫で大切に保管していますが、今回は特別に蔵出し展示を行っています。標本は現時点ですでに100年以上の時が経っているものばかりです。当時の環境を今に伝えてくれる、貴重な資料です。

◇20代から90代にかけての牧野富太郎博士

たくさんの写真から牧野富太郎博士の人となりを想像することができる展示エリアです。

精悍な顔立ちの若いころの写真もあれば、キノコを両手に踊るおちゃめな姿まで。

これまで以上に牧野富太郎博士に親近感を感じることでしょう。

◇牧野富太郎博士の著作本

博士は生涯で、研究の成果を多くの書籍で発表されています。植物研究のすそ野を広げるための活動も積極的に行っていた牧野富太郎博士。ここ越知町にもそんな牧野博士とともに植物調査を行った人がいました。今回展示している博士の関連書籍はその方のご子孫からいただいたものです。ぜひご覧ください。

（やちもり しゅうじ・みやじ めい／横倉山自然の森博物館学芸員）

鳥のはく製づくり (2/4)

宮地　萌

一口にはく製といっても動物の種類や使用の目的によって作り方が異なります。ここでは鳥のはく製つくりについて何回かに分けてお伝えしていこうと思います。

○はく製の作り方

前回で計測について紹介しました。今回は剝皮のしかたを紹介していこうとおもいます。

小さな鳥の皮はラップくらい薄いので繊細な作業が必要になってきます。力をかけるときは点でなく面でかけるのが破れの少ない皮むきのコツです。まぁ、多少の破れは後から縫い合わせればどうにかなりますよ。

計測と記録が終わったらいよいよおなかを開いていきます

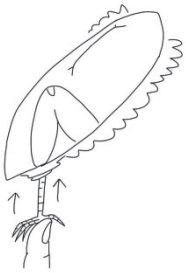
まずはお腹の真ん中の羽毛をかき分けて羽のない部分を探してみましょう。

⇨

出てきましたか？そしたら正中線上に通った骨があるハズ、そこが竜骨突起です。メスでなぞるようにしてお腹の皮を切ります。

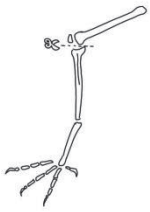
⇨

胸元からお尻の穴の手前までメスでなぞったら、左右に広げていきます。
破れやすいので慎重に。



今度は膝を押し出しましょう。足裏に指を当てて押し出すようにすると出てきやすいかも。

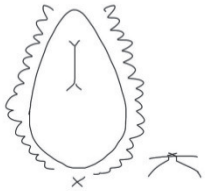
⇨



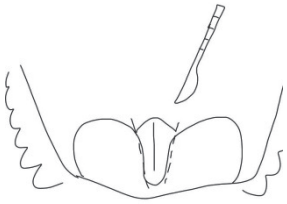
それでは膝の関節を切ります。この時裏側の皮膚も切りやすいから気をつけて。

⇨

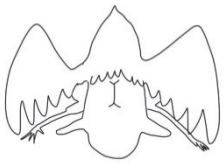
膝が切れたら一旦足を皮膚の下に戻して、今度はお尻に向かって剥きましょう。



肛門の裏側に繋がった管が見えてきたハズ、それが腸です。ハサミやメスでカットしてもっと先へ進みましょう。



尾羽の付け根が見えてきましたか？では尾骨が間にあるハズ、皮を破らないようにメスでなぞったら引っこ抜きましょう。

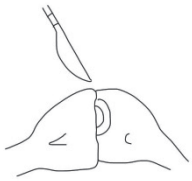


背中側が見えてきました。さぁ上半身に向けて進んでいきますよ。腹側と背側交互に剥いていきましょう。

翼の付け根で剥くのが止まったハズ、肩関節を外してしまいましょう。

さぁ、首だけ繋がってプラーン状態かな？
頭まで慎重に剥いていきましょう。
靴下をウラ返すようなイメージかな。

頭を剥こうとするとなんか皮が巻き込まれてて引っかかるところがあるハズ、それは外耳道。
爪でつまんで引っ張ればキレイにとれてきますよ。



外耳道を過ぎたらめだまのふちでまた止まるハズ、メスでふちをなでて目玉を取り外しましょう。

さぁ今度は頭骨と繋がるギリギリで首をカット。
外す時ついでに舌も引っ張って抜き取りましょう。

ふう、大仕事終えた気分、この後は残りの細かな除肉や脂取りをしていきますよ。

剝皮の工程が終わりました。人によりますが、初めてだとだいたいここまでで２～３時間かかります。慣れた人でもはく製づくりは全行程で半日以上かかるみたいです。次回は除肉と脂取りについて紹介していきますよ。

（みやじ　めい / 地域おこし協力隊）

博物館行事

体験コーナーでの展示活動

第 45 回高知県写真家協会展「土佐」

6月3日(土)～6月17日(土)入場者数:746名

毎年、高知県写真家協会が行っている公募写真展の巡回展です。高知の自然、風物、日常生活、文化、人物などを会員の皆さんが撮影した力作の中から、さまざまな賞に選ばれた作品を展示しました。これまで開催していた多目的ホールとは違う場所での開催となりましたが、会員の皆さんはそれでもしっかりとした展示を作り上げてくださいました。

牧野富太郎博士へのメッセージ展

6月20日(火)～7月21日(金)入場者数:1464名

高知県南国市で活動している「のいち絵手紙の会」の皆さんの作品を展示しました。展示の設営と撤収は、すべて会員の方々が行いました。横倉山、そこで見られる植物、牧野博士への思いなどを題材に、会員の皆さんが和紙に描いた力作が会場いっぱいに紹介されました。展示をご覧になった方々からは、「とても良かった。」、「今年にぴったりのイベントです。」、「牧野博士への深い愛を感じることができました。」など多くの感想をいただくことができました。

竹山美紀ボタニカルアート展

8月4日(金)～9月26日(火)入場者数:3563名

越知町にお住いの和紙アーティストである竹山美紀さんの作品展を開催しました。土佐和紙を用いてオイルパステルで植物を描いた作品約 60 点を展示くださいました。描かれた植物は牧野富太郎博士と縁の深い種類も多く、見学された方々からたいへん好評を得ることができました。

横倉山の植物をモデルにしたグッズづくり

4月2日(日)、5月7日(日)、6月4日(日)、7月2日(日)、8月6日(日)

〔講師:宮地　萌(横倉山自然の森博物館学芸員)、参加者:24名〕

横倉山の植物をモデルにマグネットシートや缶バッジ、プラ板キーホルダーなどを作製する講座を行いました。事前参加申し込みのなかった日はロビーや図書室で飛び込み参加者を募って開催をしました。参加者からは「絵を描くと対象をじっくり観察するから勉強になった」との意見をいただくことができました。

自然観察会　横倉山の生きもの調べ

「牧野博士が名付けたスミレ」

4月16日(日)〔講師:大利卓海(株式会社相愛職員)、参加者:12名〕

横倉山の第三駐車場から杉原神社まで歩いて、春に見られるスミレなどの小さな花を観察しました。講師の方の写真を交えた楽しい紹介に参加者の皆さんは感嘆の声をあげながらじっくりと対象を観察していらっしゃいました。

「牧野博士が愛したヨコグラツクバネ」

5月21日(日)〔講師:大利卓海(株式会社相愛職員)、参加者:9名〕

横倉山の代表的な植物で、牧野富太郎博士も愛したヨコグラツクバネの花を観察しました。講師からは、ヨコグラツクバネの分類学上の位置づけと高知県内における生育状況について解説いただきました。現地では、今年もたくさんの株を観察することができ、参加者の皆さんは、「牧野博士は、この首が短いツクバネに注目したんだねえ。」と興味津々でした。

「カエルの夕べ」

5月27日(土)〔講師:谷地森秀二(横倉山自然の森博物館学芸員)、参加者:15名〕

まず、博物館内で講師から今夜みられるかもしれないカエルの種類と特徴をおはなししました。そのあとは博物館の水庭に行って皆でカエルを探しました。今年の水庭は藻が繁茂しているためか水温が高く、例年とは少し様子が違いました。見つけることができたカエルはツチガエルのみ。その他ニホンアマガエルの声も聞こえました。

「牧野博士がふれたヨコグラノキ」

6月18日(日)〔講師:宮地　萌(横倉山自然の森博物館学芸員)、参加者:5名〕

牧野博士が名前をつけた植物ヨコグラノキ。博士もさわった横倉宮の横にたたずむヨコグラノキの基準木に会いに行きました。残念ながら花の時期からは少しずれていたようでしたが、参加者は木に触れながら牧野さんに思いを馳せるなど、楽しんでくださったようでした。

「坂折川の魚」

7月23日(日)〔講師:坂本匡祥(ニッポン高度紙工業株式会社職員)、参加者:15名〕

宮の前公園を経由して坂折川に集合し、魚の観察会を開催しました。ここ数年天候不順などで中止されてきた末の念願の初開催ということで講師側も参加者側もやる気は満々。それぞれが網やバケツを手に川の中を散策し、たくさんの魚を捕まえていました。講師からの解説には保護者も感心の声をあげ、楽しい夏休みの一日となったようでした。

「牧野博士も見たギンバイソウ」

7月16日(日)〔講師:宮地　萌(横倉山自然の森博物館学芸員)、参加者:9名〕

横倉山へ登り、ギンバイソウの花を観察しました。今年は山の花の時期が大きくずれることが多く、観察できるか心配していましたが、無事に多くの花に出あうことができました。参加者は植物に近づいて花の仕組みや葉の形を熱心に観察していました。

「土の中の虫たち」

8月27日(日)〔講師:宮地　萌(横倉山自然の森博物館学芸員)、参加者:10名〕

博物館の立体駐車場の端にたまった腐葉土を採集してきて、落ち葉のすきまや土の中にいる小さな生きものを観察しました。見つけることができた生きものは、クモ、ムカデ、ミミズ、アリなど。今回は比較的大きないきものたちをたくさん見ることができました。参加してくださった方同士で解説や交流もしてくれたようで、講師も新たな知識を得ることができました。

友の会だより

横倉山勉強会「ヒメボタル観察会」

6月25日(日)〔参加者:14名〕

これまでどおり横倉山の杉原神社から安徳水周辺までの範囲で、観察をしました。日没前に観察地に到着し、暗くなるのを待ちました。午後8時前くらいから、あちこちでヒメボタルが光り始めました。光の数は例年に比べて多い印象を持ちました。30分ほど観察して、夜の山を第三駐車場まで歩いて降りてきました。

仁淀川勉強会「仁淀川水質調査」

6月29日(木)〔事務局1名で実施〕

「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年「全国水環境マップ実行委員会」が行っているイベントです。今年度は天候不順で、会員の方のご参加が難しく、やむなく事務局1名での実施となりました。調査地点は、宮の前公園、坂折川の2地点です。調査結果は、例年通り2か所とも「たいへんきれい」という結果となりました。

横倉山ミニ歳時記

■コオロギランの液浸標本

昨年の春、NHK連続テレビ小説製作チームから相談が来ました。「4月から始まるドラマの中で、コオロギランを登場させたいので協力してほしい。ただ、撮影時期がコオロギランの開花時期とずれていて生の花を登場させるのは難しいので、レプリカを作ろうと考えている。それを作るために、生のコオロギランを数個体採集させてほしい。」という内容でした。越知町と当館では、横倉山の植物をあるがままに保存することが重要と考えていて、採集は極力控える取り組みを続けています。そのため、今回の相談については協力すべきかどうかずいぶん悩み、多くの方にご意見を求めました。牧野植物園の研究員、友の会『フォレスト・クラブ』の皆さん、横倉山への熱い思いを持つ町民の皆さん等々。たくさんの方から頂いた貴重なご意見を基にして、3個体だけ採集して提供することが決まりました。ただし採集に関しては、「採集個体以外の生育に影響が出ないようにすること」、「採集に際しては植物採集経験が豊富な方が行うこと」、「採集時には、一般の登山者の目に留まらないようにすること」を条件としました。そして、「採集個体は、レプリカ製作の後に越知町へ戻すこと」も条件に加えました。上の写真が戻されたコオロギランです。これらは、遺伝子を保存するためにエタノール液浸標本として残すことにしました。レプリカ製作の過程で、形は壊れてしまいましたが、遺伝子はそのままです。これらの個体は、いつか、誰かが、コオロギランを分子生物学的に研究するときに、横倉山からの資料として活用されるまで、当館で保管されます。

（やちもり　しゅうじ／横倉山自然の森博物学芸員）

《《令和5年度下半期行事予定》》

〔博物館〕

企画展

～令和６年３月３日（日）
　ある日、彼はこの山で大きな夢に出会った

12月16日（土）～令和６年１月28日（日）
　第4回越知小中学校学習活動発表

令和６年３月23日（土）～５月26日（日）
　横倉山生物総合調査成果報告

自然観察会「横倉山の生きもの調べ」

10月15日（日）　牧野博士が愛した植物をシカから守る
11月18日（土）　横倉山の樹木
12月17日（日）　冬の鳥たち
１月21日（日）　博物館のまわりで動物を写そう
２月18日（日）　巣箱を使う動物たちを写そう
３月17日（日）　水の中の虫たち

講座「博物館教室（四国の自然・横倉山の自然）」

12月３日（日）　仁淀川の石図鑑を作ろう
１月４日（木）　仁淀川の石を磨こう
２月４日（日）　横倉山と修験道
３月３日（日）　横倉山の生きものたちの最新情報

龍馬パスポート体験プログラム

随時　　横倉山の植物缶バッジづくり
※希望日の一週間前までに要事前申し込み。

〔博物館友の会『フォレスト・クラブ』〕

10月28日（土）　恐竜の見つけ方・調べ方－モンゴルの現場から－
11月25日（土）～26日（日）
　高知県東部エリア視察研修１泊２日
12月２日（土）
　よその博物館見学会「高知みらい科学館・高知城歴史博物館」
１月１日（月）　2024年の初日の出を横倉山で
１月12日（金）　おちぞら★冬の星観察会
３月２日（土）　よその博物館見学会「検討中」
３月９日（土）　横倉山で星空さんぽ～カノープスを見に行こう～

友の会『フォレスト・クラブ』に入会しませんか？

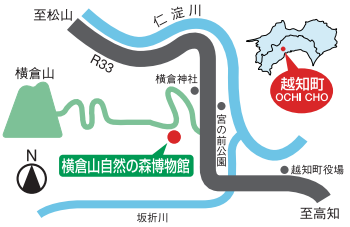
フォレストクラブとは、横倉山自然の森博物館の展示や教育活動を通じて、横倉山の自然史に関する知識や関心を高め、メンバー相互の親睦をはかる会です。みなさんも行事イベントを通して、仲間と一緒に学びながら交流しませんか？

年会費や特典などお問い合わせは友の会事務局へ
　友の会事務局（博物館内）　0889-26-1060

高知県越知町立
横倉山自然の森博物館
THE YOKOGURAYAMA NATURAL FOREST MUSEUM, Ochi
〒781-1303 高知県高岡郡越知町越知丙737番地12
TEL0889(26)1060　FAX0889(26)0620
https://www.yokogurayama-museum.jp/

●開館時間：午前9時より午後5時まで
　最終入館は午後4時30分
●休 館 日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
　12月29日から翌年の1月3日まで
●入 館 料：大人……500円
　高校・大学生……400円
　小・中学生……200円
（※20名以上の団体は100円引き。）

●越知への交通
高知 ―JR特急 約30分／JR普通 約50分― 佐川 ―バス 約15分― 越知



地球環境にやさしい
再生紙と大豆油インキを使用しています。